長崎県庁舎・出島交流会館建築物及び建築設備等点検業務委託

			設置場所		合計	
機器番号	機器名称	行政棟・ 議会棟	駐車場棟	出島交流会館	数量	単位
1	<建築物>			1式	1	式
	調査前準備					
	現地調査、整理、法令等の検討		ては今回は建 検対象外			
	報告書・調査書作成					
	建物管理者への報告・説明					
	※出島交流会館で全面的な打診調査あり			*		
	<建築設備>					
2	非常用の照明装置					
	照明器具	1,749	17	203	1,969	灯
3	換気設備					
	取入・排気ガラリ	200	1	12	213	箇所
	給気口・排気口	1,907	1	12	1,920	箇所
	防火ダンパー FD	284	_	_	284	箇所
4	排煙設備					
	機械排煙設備(排煙口)	7	_	_	7	箇所
	機械排煙設備(排煙機)	2	_	_	2	箇所
5	給水設備及び排水設備					
	衛生器具	1,072	12	218	1,302	箇所
	<防火設備>					
6	防火扉					
	防火戸(煙感知器連動)	132	_	_	132	枚
7	防火シャッター					
	電動式シャッター(煙感知器連動)	181	13	_	194	枚
	高所作業足場設置〈行政棟1階(エントランスホール4枚)、議会棟1階(風除室1枚)、2~4階(吹抜ロビー5枚)点検用〉	1式	_	_	1	式

番号	建物名称(住所)	用途	構造	建築年月 日	改修年月 日
1	行政棟(長崎市尾上町3-1)	事務所	RC造	H29.11	_
2	議会棟(長崎市尾上町3-1)	事務所	RC造	H29.11	_
3	駐車場棟(長崎市尾上町3-1)	駐車場	RC造	H29.11	_
4	出島交流会館(長崎市出島町2-11)	事務所	SRC造	S50.11	H17.3

調査結果表 (第四第一号に掲げる建築物)

当該調査に		氏 名	調査者番号
	代表となる調査者		
関与した調 査者	その他の調査者		
H-1	での何色のが明直相		

					調査結果	1	
番号			査 項 目	指摘	要是正		担当 調査者
田力		■県有施設につい	<u>ては、灰色部は検査対象外</u>	担制なし	ļ	既存	番号
1	動物及	なび地盤				不適格	
(1)		CO-ASIE	地盤沈下等による不陸、傾斜等の状況		ı		
	敷地		敷地内の排水の状況				
(3)	敷地内	の通路	敷地内の通路の確保の状況	/			
(4)	1		有効幅員の確保の状況				
(5)			敷地内の通路の支障物の状況	\setminus			
(6)	塀						
(7)			7-1. 471. 0.10-				
			化及び損傷の状況				
	擁壁						
(9)	24-05-4		擁壁の水抜きパイプの維持保全の状況			<u>I</u>	1
(1)		がかず	其球の対下笠の出現				
(2)	左矩				 		
(3)	十台	(木造に限ろ)					
(4)	- H	(ALCENTAGE)					
(5)	外	躯体等	外壁、軒裏及び外壁の開口部で延焼のおそれのある部分				
	壁		の防火対策の状況				
(6)							
(7)							
(8)							
(9)							
(10)			鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の外壁				
()		/	躯体の劣化及び損傷の状況				
(11)		外装仕上げ材等					
(12)	要能	\vdash					
(12)			和 人工 は による テイプ・ 、 日知 ナ 寺 シ ガ				
(13)							
(14)							
(15)		変サッシ笙	V - V -				
(16)		心 / ノ / サ					
(17)		外壁に緊結された広告板、空調室外機等					
(18)		, , , , , , , , , ,					
3	屋上及	び屋根		•			
(1)	屋上面	ī —	屋上面の劣化及び損傷の状況				
(2)	屋上周	目り(屋上面を除く。)					
(3)						ļ	
(4)					 	——	
(6)	屋根	(屋上面を除く)					
(7)	上瓜	(ELM EM C)					
	機器及	び工作物(冷却等設備、広告塔等)					
(9)	1		支持部分等の劣化及び損傷の状況				
4							
(1)							
(2)	-		ら第10項までの各項に規定する区画の状況				
(3)	utri		△烘110名烘10页) z 担点小工 N 時放耳 v 区 A 烘1页页 z 担	/			
(4)		防火区画の外間部 					
(5)							
(0)							
(6)		躯体等					
(7)							
(8)					$\vdash \vdash \vdash$	\vdash	
(8)	面						
(9)			鉄骨造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の				
(10)							
(11)		型ル接件のBT は海型ル接件のBC(Pt. L. D.					
(11)		画を構成する壁等に限る。)	部材の劣化及び損傷の状況				
(13)			鉄骨の耐火被覆の劣化及び損傷の状況				
(14)	1		給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填				
(11)			等の処理の状況				

(15)			令第114条に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁の状況			
(16)			室内に面する部分の仕上げの維持保全の状況			
(17)	床	室内に面する部分 躯体等	大造の床躯体の劣化及び損傷の状況			
(18)			鉄骨造の床躯体の劣化及び損傷の状況 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の床躯			
(19)			体の劣化及び損傷の状況			
(20)		耐火構造の床又は準耐火構造の床(防火区 画を構成する床に限る。)	準耐火性能等の確保の状況 部材の劣化及び損傷の状況			
(22)		E E ITAM / SANTERS OF /	給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填			
(23)	天	令第128条の5各項に規定する建築物の天井	等の処理の状況 室内に面する部分の仕上げの維持保全の状況			
(24)	井	の室内に面する部分	室内に面する部分の仕上げの劣化及び損傷の状況			
(25)		特定天井	特定天井の天井材の劣化及び損傷の状況			
		受備(防火扉、防火シャッターその他これら →るものに限る。)又は戸(令第112条第19	区画に対応した防火設備又は戸の設置の状況 居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通路に			
		2号に掲げる戸に限る。)	設置された防火設備又は戸におけるくぐり戸の設置の状			
(28)			況 防火扉又は戸の開放方向	/_	/_	
(29)			常閉防火設備等(防火扉を除く)の本体及び枠の劣化及			
(30)			び損傷の状況 各階の主要な常閉防火設備等(防火扉を除く)の閉鎖又			
(00)			は作動の状況			
(31)			常閉防火設備等(防火扉を除く)の閉鎖又は作動の障害 となる物品の放置並びに照明器具及び懸垂物等の状況			
(32)			常時閉鎖した状態にある戸の固定の状況			
	照明者 警報記	号具、懸垂物等 受備	照明器具、懸垂物等の落下防止対策の状況 警報設備の設置の状況			
(35)			警報設備の劣化及び損傷の状況			
(36)	スプリン	令和6年国土交通省告示第284号第1第1 号又は第2号ニに規定するスプリンクラー	スプリンクラー設備の設置の状況			
(27)	ク	設備 ※延べ面積が3,000㎡を超える3階以下の木	スプリンクラー設備の劣化及び損傷の状況			
(31)		造(全部又は一部)の建築物で、上記告示	ハフランフ			
(38)	居室 ∅	の緩和を適用しているものが対象 D採光及び換気	採光のための開口部の面積の確保の状況			
(39)	/LL *-	, MALIZO JAN	採光の妨げとなる物品の放置の状況			
(40)			換気のための開口部の面積の確保の状況 換気設備の設置の状況	//		
	石綿等	等を添加した建築材料	吹付け石綿及び吹付けロックウールでその含有する石綿			
			の重量が当該建築材料の重量の0.1パーセントを超える もの(以下「吹付け石綿等」という。)の使用の状況			
(10)						
(43)			吹付け石綿等の劣化の状況 除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止措置			
(45)			の実施の状況			
(45)			囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及び損 傷の状況			
	避難加			ļ	ļ	
	令第1 廊下	20条第2項に規定する通路	令第120条第2項に規定する通路の確保の状況 幅員の確保の状況	<		
(3)			物品の放置の状況			
(4)	出入口	1	出入口の確保の状況 物品の放置の状況			
(6)	屋上店		屋上広場の確保の状況		/	
(8)	避難」	:有効なバルコニー	避難上有効なバルコニーの確保の状況 手すり等の劣化及び損傷の状況			
(9)			物品の放置の状況			
(10)	階	階段	避難器具の操作性の確保の状況 直通階段の設置の状況			
(12)	段	THY.	幅員の確保の状況			
(13)			手すりの設置の状況 物品の放置の状況			
(15)			階段各部の劣化及び損傷の状況			
(16) (17)		屋内に設けられた避難階段 屋外に設けられた避難階段	階段室の構造の確保の状況 屋内と階段との間の防火区画の確保の状況			
(18)			開放性の確保の状況			
(19)		特別避難階段	バルコニー又は付室の構造及び面積の確保の状況 付室等の排煙設備の設置の状況			
(21)			付室等の外気に向かって開くことができる窓の状況			
(22)	等排	防煙壁	物品の放置の状況 防煙区画の設置の状況			
(24)	煙		防煙壁の劣化及び損傷の状況			
(25) (26)	設備	排煙設備	排煙設備の設置の状況 排煙口の維持保全の状況			
(27)	そ	非常用の進入口等	非常用の進入口等の設置の状況	/	/	
(28)	の他	非常用エレベーター	非常用の進入口等の維持保全の状況 乗降ロビーの構造及び面積の確保の状況			
(30)	の設		乗降ロビー等の排煙設備の設置の状況			
(31)	備		乗降ロビー等の外気に向かって開くことができる窓の状況			
(32)	等		物品の放置の状況			

(33)		非常用の照明装置		非常用の照明装置の設置の状					
6	その化	<u>t</u>							
(1)	等特	膜構造建築物の膜体、取	文付部材等	膜体及び取付部材の劣化及び	が損傷の状況				
(2)	殊			膜張力及びケーブル張力の状					
(3)	な	免震構造建築物の免震層	昼及び免震装置	免震装置の劣化及び損傷の状	代況(免震装置が可視状態に				
	構			ある場合に限る。)					
(4)	造			上部構造の可動の状況					
(5)	避雷討	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		避雷針、避雷導線等の劣化及	び損傷の状況				
(6)	煙	建築物に設ける煙突		煙突本体及び建築物との接合	†部の劣化及び損傷の状況				
(7)	突			付帯金物の劣化及び損傷の状					
(8)		令第138条第1項第1号	に掲げる煙突	煙突本体の劣化及び損傷の状	けに				
(9)		7 71. 11.71. 7.71. 7		付帯金物の劣化及び損傷の状					
	上記以	以外の調査項目		1,111 77 14 . 30 17 30 . 0	100				
	の内部								
		## 閉鎖した状態にある防火原	扉(以下この表にお	閉鎖又は作動の障害となる物	7品の放置並びに昭明 <u></u> 男目及			1	
(-)		「常閉防火扉」という。)		び懸垂物等の状況	加り放直並して無列船兵及				
(2)				扉の取付け状況					
(3)				扉の取りり状況 扉、枠及び金物の劣化及び損	作の中泊				
(4)				扉、件及い金物の多化及い類 固定の状況	はあり水化				
(5)				回足の状況 人の交通の用に供する部分に	かけて 労問は ル戸の 佐動中				
(3)				況	- 政りる市内的人扉の下野人				
				<i>OL</i>					
避難加									
	防煙量			可動式防煙壁の作動の状況					
その他	也確認專	事項							
法第1	2条第3	項の規定による検査を要	厚する防火設備の有無	ŧ					
□有	(ß	皆) □無							
特記事	項								
番号		調査項目	松林 /	の具体的内容等	改善策の具	体的内容	松		改善(予
番万		神 里·貝口	1日1向り	7. 其件的7.1分字	以善泉の其	・中ロリアリ谷	守		定) 年月
—									\vdash

(注意)

- この書類は、建築物ごとに作成してください。 (1)
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。 ③ 「当該調査に関与した調査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の2様式第一面3欄に記入した調査者について記入し、「調査者番号」構 調査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、その他の調査者欄は記入不要です。 「調査者番号」欄に
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、その「調査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「一」を記入してください。 ⑤ 「調査結果」欄は、別表第1(い)欄に掲げる各調査項目ごとに記入してください。
- 「調査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第1(い)欄に掲げる調査項目について(は)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入し (6)
- 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。 (7)
- 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認された 8 ときは、〇印を記入してください。
- 「担当調査者番号」欄は、 「調査に関与した調査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築物の調査を行った調査 者が1人の場合は、記入不要です。
- 7 「上記以外の調査項目」欄は、第2の規定により特定行政庁が調査項目等を付加している場合に、当該調査項目等を追加し、⑤から⑨までに 準じて調査結果等を記入してください。
- 「その他確認事項」は、法第12条第3項の規定による検査を要する常時閉鎖した状態にある防火扉(各階の主要なものに限る。)及び随時閉鎖 又は作動をできる防火設備(防火ダンパーを除く。)の設置の有無を確認し、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。 「有」の場合は、当該防火設備が設置されている階を記入してください。
- 「特記事項」は、調査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する調査項目の番号、調査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を())書きで記入してください。
- ⑬ 配置図及び各階平面図を別添1の様式に従い添付し、指摘(特記すべき事項を含む) のあった箇所や撮影した写真の位置等を明記してくださ
- ⑩ 要是正とされた調査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付してくださ

(非常用の照明装置)

当該検査に関与し た検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		
た検査者	その他の給査者		
	その他の検査者		

						検査結果		ID M
番号			検 査 項 目 等		+ヒ+本	要是正		担当 検査者
田万		<u>■</u> 県	<u>有施設については、灰色部は検査対象外</u>		指摘 なし		既存	番号
					.60		不適格	щ
	照明器具	Litter Tab - Ohio			r	r	r	ı
		使用電球、ランプ等	INT.					
1		照明器具の取付けの						
	电心内域形0 予備電源		の蓄電池及び自家用発電装置 及び器具の点灯の状況並びに予備電源の性能		T	T	T	I
(2)	照度	照度の状況	文の辞典の意刻の状況並のに 17個电像の住能					
(3)	派及	照明の妨げとなる物は	品の放置の状況					
,	分電盤	非常用電源分岐回路						
	配線		貫通措置の状況(隠蔽部分及び埋設部分を除く。)				
		の蓄電池及び自家用発		,				
(1)	配線	照明器具の取付状況	及び配線の接続の状況(隠蔽部分及び埋設部分を	と除く。)				
(2)		電気回路の接続の状況	兄					
(3)			びボックス内に限る。)の耐熱処理の状況					
(4)		予備電源から非常用の	の照明器具間の耐熱配線処理の状況(隠蔽部分及	とび埋設部分を除く。)	//	//		
	扣获同助	世田の最近など 井戸	h 乳借 ~ の 扣 扶 〉 の 体 汨					
(5) (6)	切替回路		也設備への切替えの状況 発電装置併用の場合の切替えの状況					
	電池内蔵形の		11 电衣具IT用い勿口い別省んり仏仇		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	I .
		大電ランプの点灯の:	犬況					
	· · · · · · · · ·		明兼用器具の専用回路の確保の状況					
(4)	電源別置形の		カンロン・ロ 中国・フィー・マーロ / ロ・ローロ・ロー・アード 世代 レイ・マッパンプロ					
(1)	蓄電池	蓄電池等の状況	蓄電池室の防火区画等の貫通措置の状況					
(2)			蓄電池室の換気の状況					
(3)			蓄電池の設置の状況					
(4)		蓄電池の性能	電圧					
(5)			電解液比重					
(6)			電解液の温度					
(7)		充電器	充電器室の防火区画等の貫通措置の状況		\backslash	\backslash		
(8)			キュービクルの取付けの状況					
	自家用発電物							
(1)	日豕用発電 装置	目家用発電装直等の 状況	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況					
(2)	衣旦	1/\{\mathcal{I}\L	発電機の発電容量 発電機及び原動機の状況					
(4)			無电機及び原動機の状況 燃料油、潤滑油及び冷却水の状況					
(5)			始動用の空気槽の圧力					
(6)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状	況.				
(7)			燃料及び冷却水の漏洩の状況					
(8)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況					
(9)			自家用発電装置の取付けの状況					
(10)			自家用発電機室の給排気の状況(屋内に設置さ	れている場合に限				
(11)			接地線の接続の状況					
(12)			絶縁抵抗					
(13)			電源の切替えの状況					
(14)		能	始動の状況					
(15)			運転の状況					
(16)			排気の状況	の結婚を作動の生活	 	 	 	
(17)			コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等	ツ				
7	上記以外の根	金香項目等	<u>I</u>		l	l	l	1
-		~~ ~						
特記事	項							
番号	, t		指摘の具体的内容等	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	具体的内	 容等		改善(予
ш 7	12	~	A DE JETHAN VAMERE	Ч Б Ж О	~ < 1T-H JF 3			定)年月

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の6様式第二面12欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。
- ④ 検査対象建築物に非常用の照明装置がない場合は、この様式は記入不要です。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「一」を記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第三(ろ)欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第三(ろ)欄に掲げる検査事項について同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
 -) 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った 検査者が1人の場合は、記入不要です。
- ⑪ 2(2)「照度」については、非常用の照明装置の照度測定表(別表4)を添付してください。
- ② 7「上記以外の検査項目等」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。
- ③ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を())書きで記入してください。
- ④ 要是正とされた検査項目等(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

(換気設備)

		氏 名	検査者番号
一部使用しませし	代表となる検査者		
た検査者	その他の絵本書		
	その他の検査者		

						検査結果	:	ID 44
番号		■ 県	検 査 項 目 等 有施設については、灰色部は検査対象外		指摘	要是正		担当 検査者
шЭ	★:平成20	<u>=-7</u>)年国土交通商告示第2	<u> 85号第1に基づく国土交通大臣が定める3年以内</u>	ごとに行う点検項目	なし		既存	番号
1	法第28条第2	項又は第3項に基づき	換気設備が設けられた居室(換気設備を設ける・	べき調理室等を除く。)		不適格	
(1)			給気機の外気取入口並びに直接外気に開放され					
	備		の雨水の侵入等の防止措置の状況					
(2)		設備を含む。)の外	給気機の外気取入口及び排気機の排気口の取付に	けの状況				
(3)		地元	各居室の給気口及び排気口の設置位置 各居室の給気口及び排気口の取付けの状況					
(5)			風道の取付けの状況					
(6)			風道の材質					
(7)			給気機又は排気機の設置の状況					
(8)			換気扇による換気の状況 各居室の給気口及び排気口における物品の放置。	т. 4.	/			
(10)		機械換気設備(中央	を 本名居室の換気量	77. 从 亿				
(10)		管理方式の空気調和	(1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/					
(11)		設備を含む。)の性	★中央管理室における制御及び作動状態の監視の	の状況				
		能						
	中央管理方		空気調和設備の設置の状況					
(13)	式の空気調	機器及び配管の外観	空気調和設備及び配管の劣化及び損傷の状況					
	和設備		空気調和設備の運転の状況					
(15)			空気ろ過器の点検口					
(16) (17)		空気調和設備の性能	冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離 ★冬民室の温度		$\overline{}$		$\overline{}$	
(18)		主 X 两 和 X 用 V I 工 配	★各居室の相対湿度		$\overline{}$		$\overline{}$	
(19)			★各居室の浮遊粉じん量		$\overline{}$			
(20)			★各居室の一酸化炭素含有率		_			
(21)			★各居室の二酸化炭素含有率					
(22)	16 to 10 to 10		★各居室の気流		/		/	
		とけるべき調理室等	1.78 無空の計析					
		排気筒、排気フード及						
\—/	換気設備		スロ、排気筒、排気フード及び煙突の大きさ					
(4)	換気設備 給気口、給気筒、排 給気口、排気口及び 給気口、給気筒、排							
(5)		給気口、排気口及び 給気口、給気筒、排 排気筒及び煙突の断 排気筒及び煙突と可	試口、排気筒、排気フード及び煙突の設置の状況					
(6)								
(7)			然物、電線等との離隔距離					
(8)			ペー、風道等の設置の状況 非気口における物品の放置の状況					
(10)	白鉄城宗設		ドスロにおける物品の放直の状況 びりの状況(密閉型燃焼器具の煙突を除く。)					
(10)	備	A主人 シンに All シューラエム	一个小小儿(田州王然从田兴小庄八三州)。					
			奇及び半密閉式瞬間湯沸器等の設置の状況					
(/	備	換気扇による換気の状						
(13)		給気機又は排気機の記機械換気設備の換気						
	法筐28条筐2		≞ 換気設備が設けられた居室					
		防火ダンパーの設置の						
(2)	パー等(外	防火ダンパーの取付に	ナの状況					
(3)	壁の開口部	防火ダンパーの作動の	0状況					
(4)		防火ダンパーの劣化及						
(5)	部分に設け		コの有無及び大きさ並びに検査口の有無					
(6) (7)	るものを除	防火ダンパーの温度と 防火区画の貫通措置の						
(8)	く。)		フバル D煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器の位	· 晋	$\overline{}$			
(9)			の煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器との					
4	上記以外の根							
特記事	IT百							
			1					改善(予
番号	ħ	倹査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の	具体的内	容等		改善(予 定)年月

- この書類は、建築物ごとに作成してください。 (I)
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。 ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の6様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄 に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要で す。
- ④ 検査対象建築物に換気設備がない場合は、この様式は記入不要です。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「一」を記入してください。
- (6) 「検査結果」欄は、別表第一(ろ)欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第一(ろ)欄に掲げる検査事項について同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を 7 記入してください。
- (8) 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に〇印を記入してください。
- 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認され (9) たときは、〇印を記入してください。
- 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った 検査者が1人の場合は、記入不要です。
- 1(10)「各居室の換気量)」については、法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室(換気設備を設けるべき調理室等を 除く。) の換気状況評価表(別表1)を添付してください。
- 2(13)「機械換気設備の換気量」については、換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表(別表2)を添付してください。
- 4 「上記以外の検査項目等」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑥か (13) ら⑩までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等 を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。
- 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項 目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を()書きで記入してください。
- ⑤ 要是正とされた検査項目等(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してくだ

(排煙設備)

		氏 名	検査者番号
コ砂快且に因子し	代表となる検査者		
た検査者	その他の検査者		
	ての他の検査有		

	検 査 項 目 等			検査結果		担当	
番号			<u>有施設については、灰色部は検査対象外</u>	指摘	要是正	от <i>+</i> -	検査者
	★:平成20	年国土交通商告示第2	285号第1に基づく国土交通大臣が定める3年以内ごとに行う点検項目	なし		┃ 既 存 ┃ 不適格	番号
1	令第123条第	3項第2号に規定す	る階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又	は乗降口し	一、令第		第1項
	に規定する原		LIII INCIN SH. INI - LIA NA		1		
` '	排煙機	排煙機の外観	排煙機の設置の状況				
(2)			排煙風道との接続の状況	<u> </u>		ļ	
(3) (4)			排煙出口の設置の状況 排煙出口の周囲の状況	 			
(5)			が度山口の周囲の状況 屋外に設置された排煙出口への雨水等の防止措置の状況				
(6)		排煙機の性能	排煙口の開放と連動起動の状況				
(7)		D1 /9E1/X *> 1E16	作動の状況				
(8)			電源を必要とする排煙機の予備電源による作動の状況				
(9)			排煙機の排煙風量				
(10)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況				
	排煙口	機械排煙設備の排煙					
(12)		口の外観	排煙口の周囲の状況				
(13)			排煙口の取付けの状況	<u> </u>			
(14) (15)			手動開放装置の周囲の状況 手動開放装置の操作方法の表示の状況				
(16)		機械排煙設備の排煙					
(17)		口の性能	排煙口の開放の状況				
(18)			★排煙口の排煙風量				
(19)			★中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況				
(20)	III Indian Section		煙感知器による作動の状況				
_	排煙風道		排煙風道の劣化及び損傷の状況				
(22)			排煙風道の取付けの状況				
(23)		埋設部分を除く。)	排煙風道の材質				
(24)			防煙壁の貫通措置の状況				
(25)		r+ I. P'\ / H P+	排煙風道と可燃物、電線等との離隔距離及び断熱の状況				
(26) (27)			防火ダンパーの取付けの状況 防火ダンパーの作動の状況	<u> </u>		ļ	
(28)		それのある部分に設	防火ダンパーの劣化及び損傷の状況				
(29)			防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無				
(30)			防火ダンパーの温度ヒューズ				
(31)			防火区画の貫通措置の状況				
,	特殊な構造	特殊な構造の排煙設	排煙口及び給気口の大きさ及び位置				
(33)	の排煙設備		排煙口及び給気口の周囲の状況				
(34)		口の外観	排煙口及び給気口の取付けの状況				
(35)			手動開放装置の周囲の状況				
(36)			手動開放装置の操作方法の表示の状況				
(37)			★排煙口の排煙風量				
(38)		備の排煙口の性能	★中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況				
(39) (40)		株産み株生の批価 乳	煙感知器による作動の状況 給気風道の劣化及び損傷の状況				
(41)		備の給気風道(隠蔽					
(42)		部分及び埋設部分を	給気風道の取付けの状況				
(43)		除く。)	防煙壁の貫通措置の状況				
(44)		特殊な構造の排煙設	給気送風機の設置の状況				
		備の給気送風機の外					
(45)		観	給気風道との接続の状況				
(46)		特殊な構造の排煙設	排煙口の開放と連動起動の状況				
(47)		備の給気送風機の性					
(48)		能	電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況				
(49)			給気送風機の給気風量 中央祭研会におけて制御及び佐動性能の監視の性に				
(50)		株型な様生の世帯部	中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況				
(51) (52)		特殊な構造の排煙設備の給気送風機の吸	吸込口の設直位直 吸込口の周囲の状況				
(53)		込口					
	令第123多筆		産バに成直された效応日、ジネボ寺ジが正相直ジ状況 る階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又	は乗隆ロト	-		
		と と	排煙機、排煙口及び給気口の作動の状況				
	及び非常用コ	こレベーターの昇降	給気口の周囲の状況				
		ュビーに設ける排煙					
	口及び給気口	1				1	
(3)		排煙風道(隠蔽部分	排煙風道の劣化及び損傷の状況	1		İ	
(4)		及び埋設部分を除	排煙風道の取付けの状況				
(5)		く。)	排煙風道の材質				
(6)			給気口の周囲の状況		ļ		
(7)		給気口の外観	給気口の取付けの状況 公気口の五利間投出界の周囲の投記	 	 		<u> </u>
(8) (9)			給気口の手動開放装置の周囲の状況 給気口の手動開放装置の操作方法の表示の状況				
(9) (10)		AA — — 10 00	和式ログナ動用放装置の保下方法の表示の状況 給気口の手動開放装置による開放の状況				
(11)		給気口の性能	給気口の開放の状況	1		İ	
(12)		給気風道(隠蔽部分	給気風道の劣化及び損傷の状況	L			
(13)		及び埋設部分を除	給気風道の取付けの状況				
(14)	i e	(。)	給気風道の材質				

(15)			給気送風機の設置の状況	I		ı	
(16)		給気送風機の外観	給気風道との接続の状況				
(17)	加圧防排煙		給気口の開放と連動起動の状況				
(18)	設備	給気送風機の性能	給気送風機の作動の状況				
(19)	以闸	和メルクは1成り1工化	電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況				
(20)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況				
(21)		W=X=#0=1	吸込口の設置位置				
(22)		給気送風機の吸込口	吸込口の周囲の状況				
(23)		本体間口がつかれ	屋外に設置された吸込口への雨水等の防止措置の状況				
(24)		遮煙開口部の性能	★遮煙開口部の排出風速 空気逃し口の大きさ及び位置				
(26)		空気逃し口の外観	空気逃し口の周囲の状況				
(27)		主気処し口の外戦	空気逃し口の取付けの状況				
(28)		空気逃し口の性能	空気逃し口の作動の状況				
(29)		主気起じ口の住肥	圧力調整装置の大きさ及び位置				
(30)		圧力調整装置の外観	圧力調整装置の周囲の状況				
(31)		之75m7正次巨*77 内(圧力調整装置の取付けの状況				
(32)		圧力調整装置の性能	圧力調整装置の作動の状況				
3		2第1項に規定する			•		
(1)		手動降下装置の作動の					
(2)		手動降下装置による	連動の状況				
(3)		煙感知器による連動の					
(4)		可動防煙壁の材質					
(5)		可動防煙壁の防煙区	画				
(6)		中央管理室における	制御及び作動状態の監視の状況				
4	予備電源						
(1)			自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況				
(2)	装置	状況	発電機の発電容量				
(3)			発電機及び原動機の状況				
(4)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況				
(5)			始動用の空気槽の圧力				
(6)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況				
(7)			燃料及び冷却水の漏洩の状況				
(8)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況				
(9)			自家用発電装置の取付けの状況				
(10)			自家用発電機室の給排気の状況(屋内に設置されている場合に限				
(11)			接地線の接続の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
(13)		自家用発電装置の性					
(14)		自水川元电表直の圧 能	始動の状況				
(15)		1,2	運転の状況				
(16)			排気の状況				
(17)			コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状				
(= .)			况				
(18)	直結エンジ	直結エンジンの外観	直結エンジンの設置の状況				
(19)	ン		燃料油、潤滑油及び冷却水の状況				
(20)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況				
(21)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況				
(22)			給気部及び排気管の取付けの状況				
(23)			Vベルト				
(24)			接地線の接続の状況	L .			
(25)		本 研二、 2、 - 10 22	絶縁抵抗 ************************************				
(26)	Lenne		始動及び停止並びに運転の状況	<u> </u>	J	l .	l
5	上記以外の根	R宣 贞 日寺		1	ı	1	
				 			
						!	
姓品草	1百						
特記事							改盖 (名
特記事番号		全項目等	指摘の具体的内容等 改善策の)具体的内	容等		改善(予 定)年月
		6查項目等	指摘の具体的内容等 改善策の)具体的内	容等		改善(予 定)年月
		6查項目等	指摘の具体的内容等 改善策の)具体的内	容等		
		6查項目等	指摘の具体的内容等 改善策の)具体的内	容等		
		6查項目等	指摘の具体的内容等 改善策の)具体的内	容等		
		全項目等	指摘の具体的内容等 改善策の)具体的内	容等		
		全項目等	指摘の具体的内容等 改善策の)具体的内	容等		
		全查項目等	指摘の具体的内容等 改善策の)具体的内	容等		
		全 查項目等	指摘の具体的内容等 改善策の)具体的内	容等		

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。 ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
 - 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の6様式第二面8欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」 欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不
- ④ 検査対象建築物に排煙設備がない場合は、この様式は記入不要です。
- 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「一」を記入してください。
- 「検査結果」欄は、別表第二 (ろ) 欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第二 (ろ) 欄に掲げる検査事項について同表 (に) 欄に掲げる判定基準に該当する場合に〇印を記入してください。 (7)
- (8) 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- 「検査結果」欄のうら「指摘なし」欄は、①に該当しない場合に○中を記入して、たさい。 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入不要です。 1(9)「排煙機の排煙風量」及び1(18)「排煙口の排煙風量」については、排煙風量測定記録表(別表3)を添付してください。 (9)

- ② 1(37)「排煙口の排煙風量」及び1(49)「給気送風機の給気風量」については、排煙風量測定記録表(別表3-2)を添付してください。
- ③ 2(24)「遮煙開口部の排出風速」については、排煙風量測定記録表(別表3-3)を添付してください。
- ① 5 「上記以外の検査項目等」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑥ から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。
- ⑤ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を()書きで記入してください。
- ⑤ 要是正とされた検査項目等(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

(給水設備及び排水設備)

		氏 名	検査者番号
当該検査に関与した	代表となる検査者		
検査者	その他の絵本書		
	その他の検査者		

						検査結果	:	1= .1.
番号		■ i目 3	検 査 項 目 等 有施設については、灰色部は検査対象外		+15.43	要是正		担当 検査者
留写	★ 平成20	<u>=赤1</u> 年国土交通商告示第23	月 <u>応設については、灰色部は快量対象が</u> 85号第1に基づく国土交通大臣が定める3年以内	ごとに行う点輪項目	指摘 なし		既存	(快宜石) 番号
	A . I MALEU	<u> </u>		<u>CCICI) 7 MIX-RD</u>	, d C		不適格	ш,
1	飲料用の配管							
(1)		配管の取付けの状況						
(2)	び排水配管	配管の腐食及び漏水の	* * * * *					
(3)	(隠蔽部分及 び埋設部分を	此日が長地りる回川の	の損傷防止措置の状況					
(4)	除く。)	継手類の取付けの状況	兄					
(5)	124. (6)	保温措置の状況					\setminus	\setminus
(6)		防火区画等の貫通措置	置の状況				\setminus	\setminus
(7)		配管の支持金物					\setminus	\setminus
(8)		飲料水系統配管の汚り	染防止措置の状況				\setminus	\setminus
(9)		止水弁の設置の状況						
(10)		ウォーターハンマーの	の防止措置の状況					
(11)	1	給湯管及び膨張管の記	役置の状況					
2	飲料水の配管	設備						
(1)		給水タンク等の設置の	D 状況					
(2)	タンク及び貯	給水タンク等の通気管	ぎ、水抜き管、オーバーフロー管等の設置の状況	1				
	水タンク(以	給水タンク等の腐食						
(3)	下「給水タン							
(4)	ク等」といる。)並びに	給水用圧力タンクの気	女王表直の状况					
(5)	給水ポンプ	給水ポンプの運転の						
(6)		給水タンク及ポンプ等						
(7)		給水タンク等の内部の	の状況					
(8)	給湯設備(循	給湯設備(ガス湯沸る	器を除く。)の取付けの状況					
(9)	環ポンプを含	ガス湯沸器の取付ける	の状況					
(10)	む。)	給湯設備の腐食及び液						
	排水設備							
(1)	.,	排水槽のマンホールの	の大きさ					
(2)	2//31/16	排水槽の通気の状況						
(3)	1	排水漏れの状況						
(4)	1	排水ポンプの設置の料	光 湿					
(5)	1	排水ポンプの運転の						
(6)	1		大祝 大設備の処理能力及び予備電源の状況					
	排水重到田町	★雑用水の用途	K M 少是在尼州及O·丁州电泳少水况					$\overline{}$
(8)	管設備(中水	雑用水給水栓の表示の	カ件沿					
(9)	道を含む。)	配管の標識等	7 1/1 1/L					
(10)	1	雑用水タンク、ポンプ	プダの乳器の比切					
			守い民国の仏仏					
(11)	2 年上明日	消毒装置 衛生器具の取付けの3	4·11					
(12)								
(13)	の 排水ト 他 ラップ	排水トラップの取付に	7.07.0亿					
(14)	阻集器	阻集器の構造、機能が	みが設置の状況					
(15)	配水管	公共下水道等への接続						
(16)	HL/N H	雨水排水立て管の接続						
(17)	1	排水の状況	0L > 1/1/1/L					
(18)	1	掃除口の取付けの状況						
(19)	1	雨水系統との接続の						
(20)	1 1	間接排水の状況	AUL					
(21)	通気管	通気開口部の状況						
(22)	地刈目							
4	 上記以外の検:	通気管の状況						
-	工能以外の検	直視口寸			ı	ı		
特記事	L g T百				<u>I</u>	l		
			Т					改善(予
番号	検	i査項目等	指摘の具体的内容等	改善策 <i>0</i>)具体的内	容等		定)年月
								~/ + /7
								<u></u>
	I							Ī

- この書類は、建築物ごとに作成してください。 (1)
- (2)
- この目別は、足来物にことに呼吸していた。 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の6様式第二面16欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄 (3) に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要で
- ④ 一検査対象建築物に給水設備及び排水設備がない場合は、この様式は記入不要です。
- 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「一」を記入してください。
- 「検査結果」欄は、別表第四(ろ)欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。 (6)
- 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第四(ろ)欄に掲げる検査事項について同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を $\overline{(7)}$ 記入してください。
- (8) 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に〇印を記入してください。
- 「快車箱木」欄のりつい相側なり、欄は、いに終コレス・での口にしてと記べて、たこ・。 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。 9
- 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った 検査者が1人の場合は、記入不要です。
- 4 「上記以外の検査項目等」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑥か ら⑩までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。
- 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項 目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及 び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を 記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を()書きで記入してください。
- ⑬ 要是正とされた検査項目等(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してくだ

検査結果表 (防火扉)

		氏 名	検査者番号
コ欧沃耳に関すした	代表となる検査者		
検査者	その他の絵本者		
	その他の検査者		·

				検査結果			担当
番号	t 全	査 項 目	検査事項	指摘	要是正		担ヨ 検査者
钳与	快	正 垻 日	■県有施設については、灰色部は検査対象外	指摘なし		既存	番号
				ن ن		不適格	田力
(1)			閉鎖の障害となる物品の放置の状況				
(2)			扉の取付けの状況				
(3)	防火扉		扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況				
(4)	P/J/ンC/JF	常閉防火扉	固定の状況				
(5)		人の通行の用に供する	作動の状況				
		部分に設ける防火扉	77.77. 0.0-				
(6)		煙感知器、熱煙複合式	設置位置				
(7)		感知器及び熱感知器	感知の状況				
(8)		温度ヒューズ装置	設置の状況				
(9)			スイッチ類及び表示灯の状況				
(10)		連動制御器	結線接続の状況				
	連動機構	VT 2934193 In I. 1919	接地の状況				
(12)			予備電源への切り替えの状況				
(13)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況				
(14)		产到/成件/11 1 佣电 ///	容量の状況				
(15)		自動閉鎖装置	設置の状況				
(16)		口到闭圾衣巨	再ロック防止機構の作動の状況				
(17)	総合的な作動の) 朱沪	防火扉(常閉防火扉を除く。)の閉鎖の状況				
(18)		24/100	防火区画の形成の状況				
上記以	人外の検査項目				-		
特記事	項						
番号		検査項目	指摘の具体的内容等	改善	の具体的に	力灾生	改善(予
钳力		快旦快口	拍摘の具体的内容等	以告	の芸体的	付合守	定)年月
—							

- (1) この書類は、建築物ごとに作成してください。
- (2)
- 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入 、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人 の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、その「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「一」を記入してください。
- | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10 かが同表 (に) 欄に掲げる判定基準に該当する場合に〇印を記入してください。
- 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているもので
- (9) 設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入不要です。
- 「上記以外の検査項目」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑥から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。
- 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予 定) 年月」欄に当該年月を() 書きで記入してください。
- ② 各階平面図を別添1の様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む) のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式 に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表 (防火シャッター)

		氏 名	検査者番号
コ欧沃且に因子した	代表となる検査者		
検査者	スの44の14本本		
	その他の検査者		

					検査結果	Į	+P 1/
番号	烩	査 項 目	検査事項	指摘	要是正		担当
田方	快	直 垻 日	■県有施設については、灰色部は検査対象外 ■	指摘なし		既 存 不適格	番号
(1)		設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置並びに照明器具 及び懸垂物等の状況				
(2)			軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び 開閉機の取付けの状況※				
(3)			スプロケットの設置の状況※ 軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプ				
(4)		駆動装置	ロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況 ※				
(5)			マーラチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況				
(6)	防火シャッ	カーテン部	スラット及び座板の劣化等の状況				
(7)	ター	***	吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況				
(8)		ケース まぐさ及びガイドレー	劣化及び損傷の状況 劣化及び損傷の状況				
(8)		ル	プロス () 1月				
(10)		危害防止装置	危害防止用連動中継器の配線の状況				
(11)		(人の通行の用に供す	危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状				
(12)		る部分に設ける防火	況 危害防止装置用予備電源の容量の状況				
(13)		シャッターに係るもの に限る。)	座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況				
(14)		に成る。)	作動の状況				
(15)		煙感知器、熱煙複合式					
(16)		感知器及び熱感知器	感知の状況				
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況				
(18)			スイッチ類及び表示灯の状況 結線接続の状況				
	連動機構	連動制御器	を 接地の状況				
(21)			予備電源への切り替えの状況				
(22)		 本部 株田 本母 版	劣化及び損傷の状況				
(23)		連動機構用予備電源	容量の状況				
(24)		自動閉鎖装置	設置の状況				
(25)		手動閉鎖装置	設置の状況				
(26)	総合的な作動の	り状況	防火シャッターの閉鎖の状況				
()	以外の検査項目 1		防火区画の形成の状況				
工程以	以外の快重項目					l	1
特記事	項						1
番号		検査項目	指摘の具体的内容等	改善	の具体的に	内容等	改善(予 定)年月

- (1)
- (2)
- この書類は、建築物ごとに作成してください。 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入 し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。

- の場合は、その他の検査有欄は記入不要です。 該当しない検査項目がある場合は、その「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「一」を記入してください。 「検査結果」欄は、別表(い) 欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表(い) 欄に掲げる検査項目について同表(ろ) 欄に掲げる検査事項のいずれ かが同表(に) 欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。 (6)

- 「既存不適格」欄がりら「指摘なじ」欄は、①に該当しない場合に○中を記入してくたさい。 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。 ※欄は、日常的に開閉するものについてのみ記入してください。 (9)
- 「上記以外の検査項目」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑤から⑨までに準じて検査結果等を記入してください。
- 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を())書きで記入してください。
- ③ 各階平面図を別添1の様式に従い添付し、防火シャッターの設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む)のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記 載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ④ 要是正とされた検査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

縱長(m)×横長=(m)=面積(m²)

				南側ゴ	7. 面			11020 (117)	×横長=(m)=面積(m)
	対象部位		縦長(m)	横長(m)		対象壁・	削除面積	積算-削除	
区分	(積算壁面)	単位	短辺(m)	長辺(m)	数量	壁積算面積	削除面積	面積(㎡)	備考
	南側立面								
	壁面								
杏	壁面1	m ²	40. 05	13. 70	1	548. 69			
南	壁面2	m²	7. 80	1. 20	1	9. 36			
側	庇1	m³	0. 60	14. 90	2	17. 88			
立	庇2 鼻先	m ²	0. 80	2. 60	1	2. 08			
_	庇2 上裏	m ²	4. 80	2. 60	1	12. 48			
面									
	小計	m³				590. 49	0.00	590. 49	
				北側は	五面				
区分	対象部位	単位	縦長(m)	横長(m)	数量	対象壁・	削除面積	積算-削除	備考
E /J	(積算壁面)	+12	短辺(m)	長辺(m)	外王	壁積算面積	削除面積	面積(㎡)	C. HI
	北側立面								
	壁面 壁面1	m ²	40. 05	13. 70	1	548. 69			
北	壁面2	m³	7. 80	1. 20	1	9. 36			
側	壁面3	m³	3. 45	3. 50	1	12. 08			
	庇1	m³	0. 60	14. 90	2	17. 88			
立	庇2 鼻先	m³	0. 80	2. 60	1	2. 08			
面									
	小計	m³				590.08	0.00	590. 08	
				東側式	Z 面				
区分	対象部位	単位	縦長(m)	横長(m)	数量	対象壁・	削除面積	積算一削除	備考
四刀	(積算壁面)	+ 12	短辺(m)	長辺(m)	双里	壁積算面積	削除面積	面積(㎡)	ν π νσ
	東側立面								
東	壁面 壁面1	m°	40. 05	32. 50	1	1, 301. 63			
	壁面2	m³	7. 80	1. 20	1	9. 36			
側	庇1	m³	0. 60	33. 70	2	40. 44			
立	庇2 鼻先	m³	0. 80	4. 80	1	3. 84			
-	庇3 鼻先	m ²	0. 90	6. 30	1	5. 67			
面									
	小計	m³				1, 360. 94	0.00	1, 360. 94	
				西側ゴ	Z 面				
区分	対象部位	単位	縦長(m)	横長(m)	数量	対象壁•	削除面積	積算-削除	備考
E 71	(積算壁面)	+12	短辺(m)	長辺(m)	双王	壁積算面積	削除面積	面積(㎡)	C. HI
	西側立面								
西	壁面 壁面1	m°	40.05	32. 50	1	1, 301. 63			
24	<u> </u>				. —		1		
	壁面2	m [*]	7. 80	1. 20	1	9. 36			
側		m ^a	7. 80 0. 60	1. 20 33. 70	2	9. 36 40. 44			
	壁面2								
側立	壁面2 庇1	m³	0. 60	33. 70	2	40. 44			
側	壁面2 庇1 庇3 鼻先	m m m	0. 60 0. 90	33. 70 6. 30	2	40. 44 5. 67			
側立	壁面2 庇1 庇3 鼻先	m ^a	0. 60 0. 90	33. 70 6. 30	2	40. 44 5. 67	0.00	1, 379. 15	
側立	壁面2 庇1 庇3 鼻先 庇3 上裏	m m m	0. 60 0. 90	33. 70 6. 30	2 1 1	40. 44 5. 67 22. 05	0.00	1, 379. 15	
血 面	壁面2 庇1 庇3 鼻先 庇3 上裏 小計	m° m° m°	0. 60 0. 90	33. 70 6. 30 6. 30	2 1 1 1	40. 44 5. 67 22. 05 1, 379. 15	削除面積	1,379.15 積算一削除	備老
側立	壁面2 庇1 庇3 鼻先 庇3 上裏 小計	m m m	0. 60 0. 90 3. 50	33. 70 6. 30 6. 30 塔屋	2 1 1	40. 44 5. 67 22. 05 1, 379. 15		,	備考
血 面	壁面2 庇1 庇3 鼻先 庇3 上裏 小計	m° m° m°	0. 60 0. 90 3. 50 縦長(m) 短辺(m)	33. 70 6. 30 6. 30 塔屋 横長(m)	2 1 1 1	40. 44 5. 67 22. 05 1, 379. 15 対象壁・	削除面積	積算一削除	備考
血 面	壁面2 庇1 庇3 鼻先 庇3 上裏 小計 対象部位 (積算壁面)	m° m° m°	0.60 0.90 3.50 縦長(m)	33. 70 6. 30 6. 30 塔屋 横長(m)	2 1 1 1	40. 44 5. 67 22. 05 1, 379. 15 対象壁・	削除面積	積算一削除	備考
側 立 面 区分	壁面2 庇1 庇3 鼻先 庇3 上裏 小計 対象部位 (積算壁面)	m [°] m [°] m [°] m [°] 単位	0. 60 0. 90 3. 50 縦長(m) 短辺(m)	33. 70 6. 30 6. 30 塔屋 横長(m) 長辺(m)	2 1 1 1 数量	40. 44 5. 67 22. 05 1, 379. 15 対象壁・ 壁積算面積	削除面積	積算一削除	備考
側 立 面 区 塔	壁面2 庇1 庇3 鼻先 庇3 上裏 小計 対象部位 (積算壁面) 塔屋 南側塔屋 EV3 機械室	m [°] m [°] m [°] 単位	0. 60 0. 90 3. 50 縦長(m) 短辺(m)	33. 70 6. 30 6. 30 塔屋 横長(m) 長辺(m)	2 1 1 1 数量	40. 44 5. 67 22. 05 1, 379. 15 対象壁・ 壁積算面積 40. 08	削除面積	積算一削除	備考
側 立 面 区分	壁面2 庇1 庇3 鼻先 庇3 上裏 小計 対象部位 (積算壁面) 塔屋 南側塔屋 EV3 機械室	m [°] m [°] m [°] 単位	0. 60 0. 90 3. 50 縦長(m) 短辺(m)	33. 70 6. 30 6. 30 塔屋 横長(m) 長辺(m)	2 1 1 1 数量	40. 44 5. 67 22. 05 1, 379. 15 対象壁・ 壁積算面積 40. 08	削除面積	積算一削除	備考
側 立 面 区 塔	壁面2 庇1 庇3 鼻先 庇3 上裏 小計 対象部位 (積算壁面) 塔屋 南側塔屋 EV3 機械室	m [°] m [°] m [°] 単位	0. 60 0. 90 3. 50 縦長(m) 短辺(m)	33. 70 6. 30 6. 30 塔屋 横長(m) 長辺(m)	2 1 1 1 数量	40. 44 5. 67 22. 05 1, 379. 15 対象壁・ 壁積算面積 40. 08	削除面積	積算一削除	備考